

第1回いじめ対策総点検実施報告

このたび、新潟県教育委員会による「第1回いじめ防止対策総点検」が実施されましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 目的 いじめ対策の現状について、生徒指導課による点検や支援を受け、課題があれば改善し、適正な対策とするため。
- 2 日時 令和6年10月8日（火） 10：00～12：00
- 3 会場 佐渡高等学校 応接室
- 4 指導者 副参事 真貝 康広 様
指導主事 山田 茂 様
- 5 参加者 校長 川上 豪 教諭 森澤 悟（1学年）
教頭 本間 康一 教諭 北見 直子（2学年）
教諭 源氏 篤史（いじめ対策推進教員） 講師 中川 光世（3学年）
（相川分校）
教頭 信田 英樹
教諭 梅澤秀一郎（いじめ対策推進教員）
（佐渡市立佐和田中学校）
教諭 石川 直人

6 日程

時間	項目・内容	参加者
10：00～10：50	現状の聴き取り、協議	管理職、いじめ対策推進教員、生徒指導主事
10：50～12：00	グループワーク（シミュレーション）	管理職、いじめ対策推進教員、生徒指導主事、各学年の教員

- 7 点検資料 ☒ 学校いじめ防止基本方針 ☒ いじめ総点検チェックシート
☒ 自校版いじめ対応マニュアル ☒ いじめ対策組織の会議録
☒ 令和6年度学校いじめ対策推進計画書
- 8 指導助言 資料をもとに現状を確認したが、本校・分校ともに問題はなかった。いじめ認知においては、生徒・保護者による訴えをていねいに聴き取ることが重要だ。
グループワークでは、想定上の事案における3つの場面（①報告から第1次判断、②組織としての対応策の検討、③生徒・保護者への説明）について、演習を行った。組織的対応に問題はない。迅速を心掛けるも拙速にならないように、マニュアルを踏まえ、組織的で、生徒・保護者に寄り添った対応と、メモ・記録を徹底すること。
- 9 校長より 指導・助言を踏まえて職員研修を工夫・実施し、生徒の小さな変化を見過ごさず、職員間、家庭や外部専門機関との情報の共有を密にし、「いじめを見逃さない」学校づくりを推進していきます。